

篠塚組 笑顔の総合2位

第20回アジアクロス
カントリーラリー(A
XCR)2015レ
グ6 14日 プレー
チェンマイ(タイ)
ベン&カメラ=古賀
敬介

4輪クラスは初出場の篠塚建次郎組(スズキ・ジムニー)が総合2位に食い込んだ。最後は押しがけてエンジンを始動するという状況に陥ったが、慌てず騒がず。3年ぶりの実戦を楽しむようにゴールした。優勝は地元タイのヌタボン・アングリット・ハノン組(いすゞD-MA X)。2輪クラスは池町佳生(ガスガス)が初優勝した。

トラブル続きも善戦

チェンマイのゴールに総合2位で戻ってきた篠塚は満面の笑み。上機嫌でジムニーとともに表彰台に上った。

「想像していたよりレベルの高いラリーだったね。コースは難しいし、ナビゲーションも。最終日もミスコースしてヒヤッとしたよ」

渡り中にエンジンが止まったことで、スターターが壊れてしまい、押しがけでエンジンをかけることも強いられた。

初挑戦だったアシカンの目標はトップ3入りだったが、終わって見れば非力なジムニーで予想を超える2位。「やっぱりラリーはいいね。僕は引退したわけじゃないし、オフアアがあればいつでも走るよ」。66歳の鉄人は衰えをしない。



みごと2位フィニッシュ

ユを果たした篠塚組

満足そうな笑みとは対照的に、6日間の戦いは簡単ではなかった。レグ3(11日)では道に迷い、ナビゲーターのEJ千葉と険悪な雰囲気にもなった。また、レグ5

壊れたけど、ジムニーは助手席が近いから大声を上げれば大丈夫だったよ」。97年のタカールラリーで日本人初制覇するなど数々の金字塔を打ち立てた大ベテラン。何が起きてても決して平常心を

◆アジアクロスカントリーラリー-暫定結果◆ (8月9-14日)

4輪部門			
順	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アングリット・ハノン	いすゞD-MAX	13時間56分22秒
2	篠塚建次郎	スズキ・ジムニー	1時間18分31秒
3	R・トライラッド	いすゞD-MAX	2時間46分00秒
4	伊藤芳朗	いすゞD-MAX	3時間30分35秒
5	B・プシター・ヌタボン	フォード・レンジャー	3時間57分54秒
8	塚本郁夫	トヨタFJクルーザー	4時間47分34秒
13	竹野悟史	スズキ・ジムニー	9時間37分01秒
14	浅井道浩	いすゞD-MAX	10時間02分49秒
15	青野泰久	スズキ・エスクード	10時間24分47秒
17	青木拓磨	いすゞMu-X	10時間50分37秒
19	西村文孝	スズキ・ジムニー	25時間48分30秒
20	青木孝次	三菱アウトランダー	26時間05分29秒